

# 戦評用紙

平成29年度関東大会予選  
男子代表決定戦

平成29年5月19日

会場：越谷市総合体育館

Eコート 第2試合

対戦	}	30-4	}	慶應志木 高校
正智深谷 高校		24-11		
		14-22		
		25-23		

オープンディナイのマンツーマンから速い展開の正智はセットオフenseに持ち込むまもなく得点を挙げる。#10のリバウンドシュートから始まり#4の3Pシュート、#6のミドルシュート・ドライブインがきまり9-0と先行する。慶應は#4がドライブインで初ゴールを決めるが、正智の高さを攻めあぐむ。残り4分18-2、正智#10が2ファールで交代するが勢いは止まらず30-4で第1Pを終える。

第2P、慶應はゾーンプレスから2-3ゾーンディフェン、オールコートの勝負に出る。オフenseでは1-4（ワンフォー）の形から逆サイドへボールが回るようになり、シュートチャンスが生まれる。しかしシュートが安定せず得点につながらない。一方正智は#4の外角シュートが決まりリードが広がる。慶應もオフenseリバウンドに果敢に飛び込むが、逆に速攻を許し正智の一方的な試合となる。

第3P、正智は#5・#7をベンチへ、チームとしてはサイズダウン。慶應#6・#4の3Pシュートが決まる。正智は10人目まで選手を使い40点差の攻防がつづくが、慶應は#4の3Pシュート・#10のリバウンド・#6のミドルシュートなどで残り3分、68-36と30点差近くまで追い上げる。このピリオドは慶應が14-22と正智を上回った。

第4P、ベンチメンバー全員投入して試合を進める正智、慶應も最後まで点差を詰めようと頑張るが体力的に余裕のある正智のリザーブメンバーを圧倒するまではいかず、正智が大量リードを守りきり関東大会出場を決めた。